

学生支援及び先進的サービスの観点から見る 大学図書館の最新動向 ～アジア太平洋地域の事例を中心に～

2023.12/21 [木]

14:00 ~ 16:30

オンライン開催

使用言語：英語（同時通訳あり）

（後日加盟館限定ページへ公開予定）

近年、大学図書館に求められる機能はますます多様化し、従来からの機能に加えて学生の「居場所」やアクティブ・ラーニングの場としての機能、あるいは大学外からの資料利用など、様々なニーズに応える必要性が増えています。この度は、台湾の台湾大学図書館、オーストラリアのシドニー工科大学図書館から講師をお招きし、近年リニューアルした施設のご紹介や利用者サービス・学習支援の観点からご講演いただきます。

パネリスト



台湾大学図書館

副館長

Prof. Chi-Shiou Lin

〔林 奇秀 教授〕



シドニー工科大学図書館

サービス管理部門 部門長

Dr. Sascha Jenkins

プログラム

13:45	参加者入室開始
14:00 - 14:10	開会の挨拶 および 講師紹介
14:10 - 14:55	台湾大学図書館様 ご講演
14:55 - 15:10	休憩（15分）
15:10 - 15:55	シドニー工科大学図書館様 ご講演
15:55 - 16:25	Q&A およびディスカッション
16:25 - 16:30	閉会の挨拶

お申込み

対 象	私立大学図書館協会加盟館の方 国立大学図書館協会及び公立大学協会図書館協議会の方も お申込みいただけます。
定 員	500名
お 申 込 み	2023年11月8日（水）～12月11日（月）17:00



QRコードからも
アクセスできます

〔お申込み・詳細〕

<https://www.jaspul.org/collegium/cat4/>

* zoom ウェビナーにて開催します。

* お申込み時に事前質問を受け付けます。

詳細は HP 参照。

学生支援及び先進的サービスの観点から見る大学図書館の最新動向 ～アジア太平洋地域の事例を中心に～

2023. 12/21 [木] 14:00 ~ 16:30 オンライン開催

使用言語：英語（同時通訳あり）

講師大学・パネリスト・講演トピック紹介

台湾大学図書館 [台湾]

1928年に設立された、台北帝国大学を前身とする国立大学。台湾や世界の政財界、学术界に多数の人材を送りだしている。中央図書館は大学と同じ1928年に開館し、研究支援としてサブジェクト・ライブラリアンの設置や、eラーニングセンターの運営を行っている。

2013年には法律社会学部図書分館、経済学部図書室、政治学部図書室の3つの施設を統合したかたちで、46万冊を収容可能な社会科学部棟図書館が竣工した。地下には14万冊収蔵可能な閉架書庫があり、ティーチング・アシスタントによる学習支援を受けられるラーニング・commonsも設置されている。

2023年にリニューアルした中央図書館にも触れていただきながら、学生サービス・学習支援を中心にご講演いただく。



副館長

Prof. Chi-Shiou Lin [林奇秀教授]

国立台湾大学図書館にて科学修士号を取得後、ウイスコンシン大学マディソン校にて図書館情報学博士号を取得。ウイスコンシン大学マディソン校にて図書館情報学部の准講師を務め、SLIS研究室図書館テクニカルサービスコーディネーターや総合図書館東アジア目録担当者を歴任。

国立政治大学社会科学資料センター長や国立台湾大学図書館情報学部長を経て、現在に至る。社会情報学、学術コミュニケーション、アーカイブサイエンス研究、読書研究を主な研究分野とする。

シドニー工科大学図書館 [オーストラリア]

シドニー工科大学は、1988年創立と若い公立大学でありながら、QS世界大学ランキングでオーストラリアのGroup of Eightに続き国内9位にランクインしており、コンピュータサイエンスやエンジニアリングにおいてオーストラリアトップクラス。学生数約24,000人のうち、四分の一強（約8,600人）を留学生が占める。図書館施設は2019年にリニューアルし、LRSと呼ばれる最新の検索システムを導入しており、南半球で最も技術的に優れた図書館と言われている。また、2021年のthe Australian Library Design Awardsでは、Academic Libraries部門において最優秀賞を受賞した。ご講演では、これら最新の学生サービス事情についてお話しいただく。



サービス管理部門 部門長

Dr. Sascha Jenkins

歴史学で博士号を取得。図書館内外の高等教育セクターで働いたご経験を持つ。

シドニー工科大学では、キャンパスの中心にあるUTS中央校舎の活性化に貢献。また、全学的な戦略プロジェクトを主導し、学内およびオンライン上のサービスポータル(Student Learning Hub)を確立した。

図書館では、教職員の教育と学習、職業統合的学習、ガバナンス、カリキュラムの見直しなど、学生の経験を向上させることに重点を置いて活動し、特にインフォーマル・ラーニング・スペースの創造と活性化、革新的なサービス提供に関心を持つ。